

蕪工 ニュース

山梨県立蕪崎工業高等学校 総務・企画
第49号 2008.12.19

本県初のキャリア教育で全国表彰 ものづくり教育で活躍 ロボコン山梨を振り返って 2年生が原子力発電所見学学習

本県初のキャリア教育で全国表彰

本校では、平成11年から工業科・進路指導部が核となり、蕪崎公共職業安定所・山梨県雇用開発協会蕪崎支部・山梨県経営者協会・山梨県中小企業団体中央会等の支援のもと、蕪崎市・北杜市・南アルプス市などの製造業を中心とした企業に依頼して、インターンシップを実施してきた。特に平成14年からは、キャリア教育の視点から、「ものづくり教室」や「出前授業」を実施し、特別支援学校との交流など地域や他校種との連携を図ってきた。また、教育課程の編成の在り方を見直し、事前事後指導を含めたインターンシップ（第2学年全員が3日間の就業体験、第3学年は希望者）や文部



科学省・経済産業省指定研究事業「クラフトマン21」（企業実習：電子機械科・システム工学科）を行い、系統的・組織的な指導計画のもと「蕪工キャリア教育」を実践しています。平成20年度キャリア教育推進フォーラム（主催：文部科学省・栃木県教育委員会）の開会行事において、文部科学大臣賞を受賞した。キャリア教育推進フォーラムは平成18年度から開催され本年で3年目となり、キャリア教育の関係で文部科学大臣賞は本県で初の受賞となった。

資料提供：山梨日日新聞社

ものづくり教育で活躍

生徒の取組み概要

1学年 学習領域に関する企業技術者による事前学習&工場見学

2学年 半導体製造やロボット製造に関わる企業での企業実習

実践技術者による科目領域に関する講義

高度熟練技能者の指導 → 3級旋盤技能検定
(県産技短との連携)

3学年 高度熟練技能者の指導 → 資格取得
①3級旋盤技能検定
②機械検査
③金属熱処理 等

企業研修 → 企業における実践的
技能・技術の習得

蕪工高に文科大臣賞

キャリア教育実践を評価

蕪工高（金井光宣校長）は二十六日までに、優れたキャリア教育を実践しているとして、文部科学大臣賞を受賞した。キャリア教育関係で県内の高校が同賞を受けたのは初めて。同校は一九九九年から生徒の職業観や就労観の育成を図ろうとインターンシップを実施。ハローワーク蕪崎や県雇用開発協会蕪崎支部（当時、県経営者協会の協力を得て、製造業を中心とした地元企業で実習を行ってきた。二〇〇二年度からは小学生の親子や出前授業にのびのびの教室や出前授業を開催。〇七年度からは甲府工高、谷村工高とともに文科省と経済産業省の共同指定を受けている。

省の研究事業の指定を受け、生徒が企業で技術や技能の習得に励んでいる。キャリア教育関係の同賞は〇六年度に設けた。今回は全国で学校、教育委員会、企業・PTA団体の三部門から計百二十一の学校などが受賞。二十二日に都内で行われた表彰式には金井校長が出席し、賞状を受け取った。同校は一県内では技術系人材の不足が指摘されている。今後もキャリア教育の充実を図り、社会で通用する力を生徒に身につけてもらいたい。

本校は、平成19年から21年までの3年間、文部科学省及び経済産業省の指定を受け「地域産業の担い手育成プロジェクト」通称「クラフトマン21」事業を推進しています。この取組では技能のさらなる向上を目指して国家検定である技能検定に取り組んでいます。

韭崎工高の植田章稔[※]、望月洋兵[※]

旋盤検定3級合格

2年生で県内初の快挙



「旋盤検定3級は技術者として必要不可欠な技能であり、本校では、この資格取得を目指す生徒が毎年数人いる。今年度は、2年生の植田章稔君と望月洋兵君の2人が、この資格を取得した。これは、本校史上初の快挙である。この2人は、本校で初めてこの資格を取得した。これは、本校史上初の快挙である。この2人は、本校で初めてこの資格を取得した。これは、本校史上初の快挙である。」

「本校では、この資格取得を目指す生徒が毎年数人いる。今年度は、2年生の植田章稔君と望月洋兵君の2人が、この資格を取得した。これは、本校史上初の快挙である。この2人は、本校で初めてこの資格を取得した。これは、本校史上初の快挙である。」

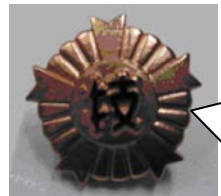
2年生 高度熟練技能者による 旋盤3級技能検定受験指導の概要

目的： 資格取得のための高度熟練技能者による指導をとおして、これまでに学んだものづくりに関わる技能・技術の定着を図り、実践的な工業技術者を育成する。

内容： 6月2日から7月1日までの毎週火曜日の午後、機械実習の授業で、5回にわたり県立産業技術短期大学校(生産技術科)の実習設備を借用し、講師は職業能力開発協会を通じて、高度熟練技能者を招聘し、旋盤3級技能検定の指導を受けた。

本年度は、2年生6名が挑戦し、2名が合格。

2年生での旋盤検定合格は本県で初の快挙です。また、3年生は、課題研究の授業で資格取得に取組み、旋盤検定と一般熱処理で2名ずつ合格しています。現在、機械検査という検定試験合格に向けて7名が取り組んでいます。



3級技能士章
です

ロボコン山梨を振り返って

第16回ロボコンやまなしが、アイメッセ山梨で11月22日(土)に行われました。今年も本校から高校生の部Ⅰ(リモートコントロール型)に電子機械科・システム工学科から4台、高校生の部Ⅱ(自立型)に情報技術科・理数工学科・ロボット工学部から16台、自由参加の部(水くみロボット)に理数工学科・ロボット工学部から4台のロボットが参加した。いずれの競技も本校のロボットがトップで予選を通過し、ベスト8の中に、高校生の部Ⅰで4台、高校生の部Ⅱで3台、自由参加の部で4台入賞した。決勝トーナメントに期待されたが、予選の勢いを持続できず優勝は自由参加の部(ロボット工学部)のみとなった。『ちょっと運に見放されてしまったが、その思いを胸にいただき来年は頑張ろうと思う。』[生徒談]



2年生が原子力発電所見学学習

本校は今年度経済産業省資源エネルギー庁主催の「エネルギー教育実践校」に認定された。平成20年度全国では9つの高校が指定された。これから3年間全校をあげてエネルギー教育に取り組んでいく。その一環として、11月18日(火)電気科とシステム工学科の2年生(63名)が、東京電力の御協力により、新潟県の「柏崎刈羽原子力発電所」と「風の丘風力発電所」の見学学習に行ってきた。原子力発電所はまだ地震の影響で停止していたが、数千人の職員が復旧に当たっていた。広い敷地には7基の原子力発電設備があり、その内の1基で山梨県の電力の80%近くを充足できる事聞き、その規模の大きさに驚かされた。朝7時30分に学校出発し、原子力発電所の見学を2時間、風力発電所を1時間、帰校したのは18時45分と強行日程ではあったが、非常に有意義な見学学習会となった。



URL <http://www.kai.ed.jp/nirasakith/>
e-mail info@nirasakith.kai.ed.jp